

病院の情報をおだやかで心地よい風のように...



森町国民健康保険病院基本理念

私たちは、常に「いたわり」と「思いやり」の心をもって病める人が心身ともに癒される病院づくりを目指します

# 医師紹介

熊谷 研一 先生



みずからの高血糖、高血圧、高尿酸血症の似合う風貌を棚に上げておきながら、時間に追われず、ゆっくりと患者さんとお話をし、予防医学と地域医療の支援に人生の終盤を費やせたらと思いい、平成27年10月1日より函館市医師会病院から森町国民健康保険病院へやってきました。見栄っ張りのお澄まし野郎です

函館に自宅がある為の単身赴任なので、寂しいでしょうか？とか、羨ましいですね〜！というように、ご感想を皆さんから伺うのですが、

最近、函館も自動車道の整備が進み、更に大沼と森の間で高速道路を利用すれば、片道40km程の道程も30分ほどなので、もう、函館市の一部みたいなもの

## 浴室が新しくなりました

平成28年2月、特殊浴と一般浴の浴室改修をしていただきました。介助量の多い患者さんは特殊浴を利用し、ゆったりと浴槽にて身体を温めることができます。また、一般浴を利用される患者さんは家に帰ったことをイメージしながら入浴ができるようになっております。入院されてくる患者さんは高齢者の方が多く、より安全な入浴の仕方など理学療法士との情報交換をしながら入浴動作等の訓練も今後は実施していきたいと思っております。

新しい浴室の感想として、「明るい」「身体が温まってるうれい」と良い意見もありますが、「一般浴の浴槽がもう少し広ければ」との意見もありました。今後も安全で、より良い環境づくりを考えていきたいと思っております。



で、遠くへ来たという感覚はありません。ですから身の回り品や洗濯物が散乱した、こみ屋敷状態とか、赤ちょうちんで酔いつぶれて...というような、男の一人暮らしの通俗小説のような非哀感(エレジー)などは、ご期待の向きには反しますが、ごさいませんので、悪しからず！ 仕事は、意外にも以前よりハードな面もあり、中々、楽に隠居はさせてもらえないものだと思いますが、実は、もっと意外だったのは、この町が水産ばかりではなく養豚も盛んで、北海道最大の養豚地域である渡島地区の中でも、トップであると聞いたことです。

成程、豚肉は柔らかくて美味しく、食事処やケーキ屋さん、シラが椿山荘で修業したという洋食屋さん、ミシラン推薦の中華屋さん、パフェとお肉が柔らかくておいしい定食のある喫茶店、リーズナブルでネタの美味しいお寿司屋さん、イチゴタルトの美味しいケーキ屋さん、昔懐かしいバタークリームのカスタードレアチーズケーキのお店など、(個人的には、ケーキが大好きですW)：これも良い意味で期待を裏切られて、食べる楽しみというのが増えてしまいました。

さてさて、以前より忙しい、魚介類以外の食べ物も美味しい。此方に来て、新たに、色々な発見をしました！この年で新たな発見とは、何とも有難きことで、これか

## 桜と花粉症

桜の花粉症ってないの？

吹く風も柔らかな春日和となり、まもなくうららかな春の季節がやってきます。ですが、春といえば花粉症。毎年春になると悩まされる方も多いのではないのでしょうか。花粉症といえばスギ花粉が有名ですが、北海道にはスギが殆ど生息していないのであまり影響は無く、代わりにシラカバ花粉が問題になっていきます。ただし、ここ道南にはスギも一部自生しており、本州に近いということもありスギ花粉の影響を受けています。

そこで疑問がひとつ。森町の花でもあるお花見の「桜」では花粉症はないのでしょうか。花は受粉の仕方によって3つに分類されています。ハチやチョウなど虫によって受粉させる「虫媒花」。メジロやヒヨドリなど鳥によって受粉させる「鳥媒花」。そして風に花粉を運んでもらう「風媒花」。花粉症を起こすのはスギなどの風媒花が中心です。風に乗ってより遠くへ飛ばすために小さく軽い花粉が多く、その性質から体内にも侵入しやすくなっています。しかし桜は虫媒、鳥媒花であり、その花粉はベタツとしていて重く虫や鳥にくっつきやすいようになっています。このように桜花粉は飛散しないので基本的に花粉症は起こしません。ただし、花粉の付いた手を目や鼻などの粘膜に持つていくと起きることはありますのでご注意ください。

らも、新鮮な刺激を与えて頂きながら皆々様と余生を過ごして行ければ、老化しないで暮らせるかしらと...淡い期待を抱いております。

時々売店のお母さんに、甘い物を買おうとして、欲しくなりますよね、ストレスですか、お疲れなんですねー！と言われることもあり、日々これ研鑽(けんくわん)と思いい、くじけぬように頑張っています。

安賀 裕 先生



早いもので森町国保病院にお世話になるようになって半年が過ぎました。

前任地からコンテナで荷物を運んだのが前日のように感じます。

引越した初日から函館としては考えられない猛暑にやられ、駅前のホテルや大沼プリンスホテルから出勤したのが懐かしいです。

大好きな北海道の地域医療のお手伝いがしたくて家族とも

ども道東に来たのが13年前で普通ではできないいろいろな経験をさせてもらえました。「流水ダイビング」「阿寒湖の隣のひょうたん沼に真夜中にカヌーを浮かべて月明かりの雌阿寒岳の噴煙を眺めて時を過ごす」「全道玉入れ大会」「夏祭りて串を焼きながら小学校の壁面に飾るクリスマスネオンを製作するための費用を捻出する」などの楽しい思い出でいっぱいです。

子供でいえば、「少年野球大会で準優勝」「JAXA宇宙開発機構によるオランダ研修への一人旅などなど、すべてがかげがえのないものです。そのような中、一昨午子供の中学受験を視野に家族を東京に返し単身赴任生活が始まりました。道東の冬は厳しく、飛行機の欠航は当たり前で下手をすればとすべの道路が閉鎖され病院から一歩も出られないことも多々ありました。

これをきっかけにより東京に安全に帰れる道南勤務を切望し、このたび当院にお世話になる決心をしました。

新幹線が開業し、利便性の高い函館空港にも恵まれ、また町民の方々が非常に穏やかに接してくれます。これからこの町の医療にすこしでもお役に立てればと思っています。